

研 究 論 集

第 十 七 卷

前 卷 目 次

第 1 6 卷

発行にあたって……………	今小路 覚 瑞……………	一	右
浄土真宗とキリスト教との比較研究……………	岡 邦 俊……………	三	280
悪人正機について……………	松 永 大 覚……………	二一	262
宗教の客観性について……………	海 辺 忠 治……………	三一	252
遠 藤 周 作 論……………	中 野 恵 海……………	三七	246
伊勢物語の歌の伝承性……………	森 本 茂……………	五一	232
明治百年国語教育思想の回顧……………	寺 内 清之助……………	六三	220
緑 茶 の 今 昔……………	塩 野 緑 子……………	七九	204
大法会における師子舞について……………	小 野 功 竜……………	八五	198
ヨーロッパの服飾教育……………	神 田 美 年 子……………	1	左
服装史より……………(4)	山 本 登 美 子……………	19	
着衣心理の分析……………	中 野 慎 子……………	35	
生体を作るもの……………	富 田 朋 介……………	49	
いかなご油の性状に関する一考察……………	小 原 国 彦……………	67	
最近の主婦の生活時間調査より算出した消費エネルギー量と推定労働強度について……………	村 上 裕 子……………	77	
食物史上に於ける精進料理の意義……………	山 口 光 子……………	89	
炭化水素資化性酵母の変敗油に対する挙動……………	吉 玉 置 知 子……………	97	
老年学 (Gerontology) の生誕……………	橘 川 覚 勝……………	105	
無意図的教育の再検討……………	秦 博……………	117	
道徳の時間実施に関する統計的研究……………	永 田 千 恵 子……………	131	
完教音楽の概念並びに宗教と音楽との結合について……………	酒 井 諄……………	163	
「Mit 17 hat man noch Träume」 と「納會利」の間で……………	馬 淵 卯 三 郎……………	173	

一般教育・教職関係

(学部、短大共通)

学会発表

岡 邦俊 教授

(1) Robert E. Hume, *The World's Living Religions*.

ロバート・E・ヒューム著・世界宗教概論、植木謙英、岡邦俊訳
京都・白華苑出版、昭和四十四年四月、定価二二〇〇円。

(2) 善と悪との研究―仏教的な見方と生き方の根本 岡 邦俊著。
東京・教育新潮社出版、昭和四十四年四月、定価三三〇〇円。

中西 智海 助教授

○雑誌論文

「親鸞における『歴史』の問題」

(印度学仏教学研究第十七巻第二号)

○研究発表

「親鸞における往生の特異性」

日本印度学仏教学会 第二十回学術大会(期日 六月八日 於 大正大学)

要旨「親鸞における『歴史』の問題」

ここでいう「歴史」とは宗教の抱く「歴史観」のことである。歴史を歴史たらしめる状況はきわめて宗教的な構造をもつ、西谷啓治博士の論を手がかりに親鸞の歴史観を論じた。特に超歴史的「弥陀」と歴史の中の「釈迦」との関係を追求め、歎異抄の「弥陀の本領まことにおはしまさば……」といわれる点に論及した。

要旨「親鸞における往生の特異性」

親鸞以前の「往生」は「来世」でのみ語られていた。それを、親鸞は「即

得往生」と「難思議往」という往生の二義を語生り、信心の立場にたつことを「即得往生」といってきた。従来のいわゆる伝統教学はその面をはっきりさせていなかったからそれを論じた。

永田 千恵子 講師

私学研修福祉会から内社留学研修費の助成を受け、京都大学の私学研修員となり、修修期間 昭和四十四年一月一日から三月三十一日まで

なおその報告は道徳教育の研究―中学生の道徳意識の発達について―と題して、「私学研修」第四十三号―昭和四十三年度国内研修(内地留学)報告集―に掲載。

橘 覚勝 教授

昭和四十四年十一月二十日―二十二日大阪で開催の第六回日本老年学会総会において社会学会総会々長として会長講演を「Agingの発見」と題して行った。

音楽学部関係

○海外出張及び留学

佐藤 允彦(助教授) 音楽学

ヨーロッパ研究の資料を集めるため、四十四年七月二十日より約二カ月の予定で、ポーランド国立シヨパン研究所を始め欧州諸国を歴訪後、帰国。

木川田 誠(教授) 声楽

声楽研究のため西ドイツデットモルト音楽大学へ一カ年の予定にて八月上旬渡独、ヴァイセンヴォルン教授のもとにて修学、滞在中の住所は左記のとおり。

Herrn Makoto Kikawada bei Frau Clot 8204 Blumen Str. 3
Brannenburg W-Germany

鈴木 田鶴子(教授) 声楽

門屋 菊子(講師) 声楽

シエナ夏期大学音楽講座受講のため、八月五日より約一カ月の予定にて、欧州

各国を歴訪後、帰国。

吉永清子(講師) 弦

ザルツブルグ音楽院夏期講座受講のため、七月二日より約一カ月間、オーストリア及び欧州諸国を歴訪後、帰国。

○帰国

大谷紀美子(助手) 音楽学

昭和四十一年九月より、インド、マドラスのカラクシエトラに留学、インド舞踊パハラータ・ナティヤム研究に精進のところ、業を終え一月六日に帰国。

○学内人事

仲芳樹 教授(音楽学・前大学教務部長)

四十四年九月十日付をもって大学音楽学部学部長に任命された。

学部人事改定により、教授会において音楽学部執行部が設置され、学部長のもとに、左の三氏がその任に選出された。

酒井諄 教授(教学主任)

大橋博 教授(演奏主任)

宮越精三郎 教授(学生主任)

○新任(専任者のみ)

中山明慶 (音楽学) 講師 昭和四十四年四月一日

久志本秀夫 (英語) 講師 昭和四十四年四月一日

金田雄志 (作曲) 助手 昭和四十四年四月一日

横川美智子 (声楽) 講師 専任助手のところ昭和四十四年四月一日を以って任用

滝川栄津子 (ピアノ) 講師 //

羽田久美子 (ピアノ) 講師 //

吉永清子 (弦) 講師 //

○退職

馬淵卯三郎 (音楽学) 教授 昭和四十三年九月三十日

小谷泰造 (英語) 講師 昭和四十四年三月三十一日

○演奏旅行(山陽道)

昭和四十四年十月二十五日

高砂市文化会館にて演奏会及び玉野市玉野市民会館にて演奏会

十月二十七日

倉敷市立味野中学校及び児島市立下津井中学校にて演奏会

十月二十八日

尾道市浄泉寺にて法要に参仕、引つづき尾道市公会堂にて演奏会

十月二十九日

尾道市立長江中学校にて演奏会

十月三十日帰阪

○公開講座

西ドイツミュンヘン大学のシュトイラー教授(ピアノ)とエンドレス教授(ヴァイオリン)を迎え在近畿八音楽系大学の共催にて公開ゼミナール及びコンサートを行った。本学においてはベイトヴェンのソナタを中心にして十月二日両教授による公開ゼミナール、三日午後四時より演奏会が開かれた。なお詳細は左記の如きである。

十月二日(木) 公開講座 於 本学講堂

シュトイラー教授 ソナタ第十二番 作品二十六 変イ長調

特別レッスン 三回生 青木 伴子

ソナタ第三十番 ホ長調 作品一〇九

特別レッスン 三回生 布野由紀子

ソナタ 第七番 ハ短調 作品三三〇二

特別レッスン 二回生 田井美千代

ソナタ 第九番 イ長調 作品四十七

特別レッスン 三回生 木崎 節

十月三日(金) 午後四時 演奏会 於 本学講堂

エンドレス教授 シュトイラー教授

一、バイオリン ソナタ 第六番 イ長調 作品三〇ノ一

二、バイオリン ソナタ 第八番 ト長調 作品三〇ノ三

三、バイオリン ソナタ 第七番 ハ短調 作品三〇ノ二

卒業論文・卒業演奏

○昭和四十三年度音楽学専攻卒業論文題目

米村 早苗「芸術特に音楽の存在性に関する一考察」

○同音楽学専攻研究生終了論文

岸本 育子「大阪のわらべうた」

○昭和四十三年度卒業演奏会

日時—昭和四十四年三月二十四日 午後五時三十分

場所—相愛講堂

- | | | | |
|-------|--|----------|-------------|
| 中野 和子 | 作 曲 | オルガン独奏 | 久保田清二(本学教師) |
| 高島 公子 | メゾ・ソプラノ | 伴奏 | 荒井 洋子 |
| | 1 九十九里浜 | | 平井康三郎 |
| | 2 Von ewiger Liebe | | Brahms |
| 小林 宏子 | ピアノ | | Chopin |
| | Balade op. 52 | | |
| 西堀 敏子 | ソプラノ | 伴奏 | 小林 宏子 |
| | 1 おくら横丁 | | 中田 喜直 |
| | 2 Ah! Je ris de me voir (Faust) | | Gounod |
| 木村 治子 | ヴァイオリン | 伴奏 | 加藤 寿美 |
| | La Folia | | A. Corelli |
| 加藤 寿美 | ピアノ | | Prokofieff |
| | Sonata op. 28 | | |
| 高瀬 貞子 | 作 曲 | 合唱 コーラス部 | 博(本学教師) |
| | 高田敏子の詩による「三つの歌」 | 指揮 | 大橋 |
| | 1 ふうりん | | |
| | 2 影ぼうし | | |
| | 3 おばあさんの手 | | |
| 大上 明子 | ソプラノ | 伴奏 | 河村 浩子 |
| | 1 もう直き春になるだろう | | 山田 夏精 |
| | 2 Pace, pace, mio Dio (La Forza del destino) | | Verdi |

河村 浩子

Scherzo op. 54

Chopin

日隅 祺子

ソプラノ

高橋 元子

上田恵美子

オーボエ

小林 宏子

羽場喜代子

メゾ・ソプラノ

田中 早苗

山口 洋子

ピアノ

石渡日出夫

池原トシエ

ソプラノ

秋本 陽子

木場 俱子

ヴァイオリン

青柳 直子

青柳 直子

ピアノ

J. Sibelius

山田紀久子

ソプラノ

秋本 陽子

桐の花

La mamma morta (Andrea Chenier)

Giordano

L'isle joyeuse

Debussy

新人演奏会

〔関西地区大学音楽学部卒業による〕

主催・関西音楽大学協会

日時・昭和四十四年五月七日(水) 午後六時より

場所・フェスティバルホール

山田紀久子(声楽)

オペラ「アンドレア・シェニエ」より

アリア 亡くなった母

青柳 直子(ピアノ)

「喜ぶの鳥」

ドビュッシー

ショルダート

○相愛女子大学新人演奏会

一九六九年十月十三日〔月〕

毎日ホール

主催 相愛女子大学

後援 相愛女子大学同窓会

ピアノ 山本 澄子

リ ス ト ソナタ ロ短調

ソプラノ 中井 陽子

団 伊玖磨 「抒情歌」 I 花季 II 路地の子 III 藤の花

「夕鶴」より つうのエリア

あたしの大事な与ひよう

あたしはただ美しい布を見てもらいたくて

バイオリン 川原 順子 ピアノ伴奏 碓 英子

モーツァルト バイオリン ソナタ 変ロ長調 K.378

アレグロ・モデラート

アンダンティノ・ソスエヌート・エ・カンタービレ

ロンド・アレグロ

バルトーク ルーマニア民族舞曲 ピアノ伴奏 千葉 翠

ソプラノ 佐藤 康子

プッチーニ 歌劇「トスカ」より 二人きりの愛の果に

歌に生き愛に生き

ベル デイ 歌劇「仮面舞踏会」より 私の最後の願い

ジョルダノー 歌劇「アンドレア・シエニエ」より 亡くなった母が

ピアノ伴奏 碓 英子

ピアノ 千葉 翠

プロコフィエフ ソナタ 第六番 作品 八十二

アレグロ・モデラート

アレグレット

テムポ・デイ・ワルツァー・レンティッシモ

ピバールチェ

○相愛オーケストラ第十一回定期演奏会

一九六九年十一月二十五日〔火〕 大阪厚生年金会館大ホール

主催 相愛学園

I 1、合奏協奏曲 作品八、四季、より「秋」

アレグロ

アダージョ

アレグロ

アレグロ

2、交響曲 第九十四番 ト長調「驚がく」より

アンダンテ

メヌエット

II ピアノ協奏曲 第三番 ハ短調 作品三十七

アレグロ・コン・プリオ

ラールゴ

ロンド・アレグロ

III 交響曲 第四十一番 ハ長調「ジュピター」K五五一

アレグロ・ヴィヴァーチェ

アンダンテ・カンタービレ

メヌエット・アレグレット

アレグロ・モルト

IV 交響詩 「わが祖国」より

「モルドウ」

「モルドウ」

○学会及び研究活動

仲 芳 樹 教 授 (音楽学)

今回東洋音楽学会が社団法人として発足、これにともなう役員人事の改選が行

われ、新たに理事として選出された。

酒井 諄 教授 (音楽学)

昭和四十四年音楽学会関西支部主催シンポジウム
(テーマ「教育において音楽とはなにか」)において、提案者及び司会を担当。

佐藤 允 彦 助教授 (音楽学)

○世界音楽全集(シヨパン第二巻 昭四十四・河出書房刊)を執筆

○昭和四十五年三月六日開催予定の毎日新聞社主催「シヨパン展」の解説を執筆

辻井 英 世 講師 (音楽学)

○「松平頼則論―松平頼則氏へのオマージュ」

△音楽芸術▽69年6月号

○「シヨパンの音楽1―その構成的・時間的側面」

△日本コロムビア『シヨパン全集』第三巻別冊解説書▽69年6月

○「シヨパンの音楽2―演奏における諸問題」

△日本コロムビア『シヨパン全集』第四巻別冊解説書▽69年9月

○「シヨパンポーランドとフランス」

△同右 第五巻▽69年12月

○講義「フランス近代の合唱音楽」

大阪パレストリーナ・インスティテュート合唱音楽講座69年2月5日

小野 功 龍 講師 (音楽学)

○東洋音楽学会関西支部第四十一回例会(四十四年十二月六日午後二時、於本学五二五教室)において、「伝供小考」と題して研究発表を行う。

○昭和四十四年度音楽学会主催シンポジウム(テーマ「教育において音楽とは何か」昭和四十四年十二月三日於ゲーテ・ノーンステイト)において、東

洋及び日本部門のパネラーとして出席、又同シンポジウムのペーパーに「平安

時代貴族の音楽生活」と題して発表。

○竜谷史壇第62号(竜谷大学史学会 44・12・20刊)に「伝供小考」と題して論文を発表。

中山 明 慶 講師 (音楽学)

○音楽学会関西支部第七十五回例会(四十四年四月二十六日於本学七三五教室)

において Henry Parcell の「ファンタジア」他の楽曲紹介及び研究演奏を行う。

○音楽学会関西支部第七十六回例会(四十四年五月三十一日於奈良女子大学)

において Henry Parcell の「Fairy Queen」の楽曲紹介及び研究演奏を行う。

○音楽学会関西支部第七十七回例会(四十四年七月十一日於本学七三五教室)に

において Henry Parcell の「組曲」の楽曲紹介及び研究演奏を行う。

久志本 秀 夫 講師 (英語)

○東欧史研究第一号(東欧史研究会刊、関西学院大学史学研究室内)において「

アンコーナのチリアコ伝の為に(1)」と題して論文を執筆

○アウラ7(大阪外国語大学イタリア語学科刊)において「イタリア情報センタ

1について」と題して論文を執筆

○昭和四十四年度開講科目・講義題目(音楽学部)

〔一般教養科目〕

担当 者 履修学年 講 義 題 目

宗 教 岡 邦俊教授 I 宗教概説

1 宗教の人生に於ける役割り。

2 世界には、どの様な宗教が存在しているか。

3 諸宗教の特色についての比較研究

松永 大覚教授 II 嘆異鈔講読

松永 大覚教授 III 嘆異鈔統講

岡 邦俊教授 IV 真宗概説

1 人間生活と浄土真宗。

2 親鸞聖人の人間観、社会について

3 親鸞聖人の思想と信仰について。

哲学	海辺 忠治教授	I	1 哲学とは何か。 2 思想史
文学	田中重太郎教授	II	日本文学 前期 日本文学概説 後期 清少納言枕冊子解釈 と鑑賞
歴史学	木場 集蔵講師	II	
法学	中山 勲講師	I	前期 法学入門(ラドブラック) 後期 日本国憲法
経済学	河村 宜介講師	I	経済学一般理論と経済思想史について
化学	埴 雅寿教授	II	光学概論・振動・波動と音響学概論
生物学	中村 治講師	I	生命とエネルギー
生活科学	大屋 昭吾教授 富田 昭夫講師	II	体育史・衣・食・住の化学

〔外国語科目〕

英語	中山 明慶講師	(1)
英語	久志本秀夫講師	(1)
英語	目片ミサヲ講師	(1)
英語	目片ミサヲ講師	(2)
英語	久志本秀夫講師	(2)
英語	目片ミサヲ講師	(2)
英語	久志本秀夫講師	(3)
英語	久志本秀夫講師	(4)
英語	藤原 恰子講師	(4)
独語	中山 明慶講師	(1)
独語	目片ミサヲ講師	(1)
独語	寺川 央講師	(1)
独語	目片ミサヲ講師	(2)
独語	尾崎 和彦講師	(2)
独語	寺川 央講師	(2)

独語	目片ミサヲ講師	(3)
独語	尾崎 和彦講師	(4)
伊語	久志本秀雄講師	(1)
伊語	久志本秀夫講師	(2)
仏語	木村 恵子講師	(1)
仏語	木村 恵子講師	(2)

〔保健体育科目〕

体育実技	長野 孝男講師	I
〃	長野 孝男講師	II
体育講義	富田 昭夫講師	III

体育理論

〔専門教育科目〕

作曲理論	大橋 博教授
和声法・対立法(作曲専攻・一般)	山田 光生講師
〃	鈴木 滋子助手
〃	金田 雄志助手
〃	飯島 英嗣助手
管弦楽法 III・IV(作曲専攻・一般)	池内友次郎講師
和声法演習 IV(未修得の学生のみのみ)	山田 光生講師
音楽理論	芳樹教授
〃	大橋 博教授
〃	辻井 英世講師

和声論 I 辻井 英世 講師

楽器論 IV 大橋 博 教授

△音楽史関係科目▽

日本東洋音楽史 I

西洋音楽史概説 I

西洋音楽史概説 I

西洋音楽史(特講) II

西洋音楽史(特講) II

比較音楽学 II MC

音楽美学 III

宗教音楽論 IV I

音楽心理学 III

音楽音響学 I

演奏解釈 I

合唱 I・I・III・IV

合唱(1) I・I・III・IV

合奏(2) II

ソルフージュ I・I

指揮法 II
伴奏法 IV

〔教職専門科目〕

学年

担当者

講義題目

青年心理学 I 橘 覚勝 教授 Personalityの形成発達を中心として

教育原理 II 秦 博 教授 教育学概論

教科教育法 III 品川 三郎 講師 道徳教育の目標と方法

道徳教育の研究 III 秦 博 教授 道徳教育の目標と方法

教育実習 IV 永田千恵子 講師 集中実習の準備講義

〔音楽学専攻関係科目〕

音楽学 I 酒井 諄 教授 音楽学概説

中山 明慶 講師 西洋音楽史概説

小野 功竜 講師 日本東洋音楽史概説

藤原 恰子 講師 西洋音楽史演習、近世イタリアの音楽

平野 健次 講師 日本音楽史特講

岸辺 成雄 講師 比較音楽学概説

梅本 堯夫 講師 音楽心理学概説

仲 芳樹 教授 音楽理論概説

佐藤 允彦 助教授 西洋音楽史演習、マヅルカの研究

平野 健次 講師 日本東洋音楽史演習

(大谷紀美子 助手)

酒井 諄 教授 音楽美学演習(含音楽教育学)、西洋音楽美学史

辻井 英世 講師 音楽理論演習

吉田 秀和 講師 西洋音楽史特講(集中)楽曲の原理

酒井 堯夫 講師 音楽学演習

梅本 堯夫 助教授 音楽学演習

佐藤 允彦 助教授 音楽学演習

音楽学 IV

小野 功竜 講師
 岸辺 成雄 講師
 平野 健次 講師
 (大谷紀美子) 助手

音楽学演習、東洋のリズム

〔古楽実習〕

音楽学 I~IV
 若林 正史 講師
 中山 明慶 講師
 小野 功竜 講師
 小野 功竜 講師
 菊原 初子 講師
 菊和千 保子 講師

バロックアンサンブル
 雅楽
 地唄・箏曲

実技担当者氏名

作曲

職名 担当科目 氏名
 教授 作曲 大橋 博 職名 担当科目 氏名
 講師 作曲 山田 光生 助手 作曲 鈴木 滋子
 講師 作曲 山田 光生 助手 作曲 金田 雄志

声乐

職名 担当科目 氏名
 主任 声乐 柴田 陸陸 職名 担当科目 氏名
 教授 声乐 栗本 尊子 講師 声乐 稲垣 孝子
 教授 声乐 山田真梨子 講師 声乐 田中万美子
 教授 声乐 嘉納 愛子 講師 声乐 門屋 菊子
 教授 声乐 鈴木田鶴子 講師 声乐 大森 栄一
 教授 声乐 宮越精三郎 講師 声乐 横川美智子
 教授 声乐 水谷 堅 講師 声乐 伊藤 京子
 教授 声乐 白石 勝子 講師 声乐 伊藤 巨行
 教授 声乐 荘田 作 講師 声乐 林 雄一郎
 教授 声乐 柳瀬 徹 講師 声乐 引田リエ子
 教授 声乐 木田川 誠 講師 声乐 中村 幸子

器楽

職名 担当科目 氏名
 主任 ピアノ 井口 基成 職名 担当科目 氏名
 教授 ピアノ 矢田 暎子 講師 ピアノ 在田 滉子
 教授 ピアノ 片岡みどり 講師 ピアノ 滝川栄津子
 教授 ピアノ 徳末 悦子 講師 ピアノ 中村久美子
 教授 ピアノ 志賀宗三郎 講師 ピアノ 久保田清二
 教授 ピアノ 石橋 信子 講師 ピアノ 井口 愛子
 教授 ピアノ 津曲 滋子 講師 ピアノ 小林 とし
 教授 ピアノ 伊奈 和子 講師 ピアノ 市川 伸子
 教授 ピアノ 内田 玲子 講師 ピアノ 山本 瑛子
 教授 ピアノ 出口美智子 講師 ピアノ 山本 数子
 教授 ピアノ 西川恵美子 講師 ピアノ 沢村千栄子
 教授 ピアノ 川村 明子 講師 ピアノ 福山 藍子

器楽(弦)

職名 担当科目 氏名
 主任 弦楽・合奏指揮 斎藤 秀雄 職名 担当科目 氏名
 教授 弦楽・合奏指揮 東儀 裕二 講師 弦楽・合奏指揮 井上 頼豊
 教授 バイオリン 辻 久子 講師 バイオリン 日比野忠孝
 教授 バイオリン 吉永 清子 講師 バイオリン 米沢 宏
 教授 バイオリン 鷺見 三郎 講師 バイオリン 吉野 篤子
 教授 バイオリン 西田 秀雄 講師 バイオリン 三輪 長雄
 教授 バイオリン 東儀 幸 講師 バイオリン 木村 和子
 教授 バイオリン 徳丸 聡子 講師 バイオリン 上条 尚人
 教授 演奏解釈・合奏 徳丸 聡子 講師 演奏解釈・合奏 川原 順子

器楽(管・打)
 主任 管楽 器 山口 常光 職名 担当科目 氏名
 講師 フラグット 三原 泰三

講師	トランペット	椿 弘	講師	オーボエ	岩崎 勇
講師	フルート・プロ	若林 正史	講師	ホルン	横井 逸郎
講師	フルート・合奏	森 正	講師	トロンボーン	芝辻 宣雄
講師	フルート	川口勝治郎	講師	打楽器	大橋 博
講師	クラリネット	北瓜 利世	助手	フルート	品川 伶子
講師	々	喜田 賦			

短大 国文関係

著書

田中 重太郎 教授 編著

「校本枕冊子」 総索引 第一部

昭和四十四年十月十八日刊 古典文庫

B5判・七三〇頁 総クローズ、函入 上製本 頒価一万円

内容 校本枕冊子(伝能因本) 語彙総索引

校本枕冊子(伝能因本) 章段目次

校本枕冊子諸本綜合章段索引

森本 茂 助教授 編著

「伊勢物語論」

昭和四十四年七月三日刊

A5判・二四二頁

定価 二二〇〇円

内容 研究編・資料編・索引

第七章からなる研究編にひき続き、資料編には、現存伝写本・建部綾足

著「古意追考」を翻刻し、頭注に他の諸本との校異を誌す。

学会発表

中野 恵海 助教授

彙報

論文

柿谷 雄三 助教授

「河野信」記念 枕冊子の諸本について
文化館所蔵

「平安文学研究」第四十二輯 昭和四十四年二月 掲載

国文学科文学遺跡めぐり

国文学科では、定例の文学遺跡めぐりを次のようにおこなった。

日時… 昭和四十四年十月二十三日(木)

午前八時半〜午後五時半

目的… 地飛鳥地方(藤原官址・香久山・飛鳥寺・甘樫岡・石舞台)

一、二年の学生二百三十一名と付添教官六名が、六台のバスに分乗し、まず、藤

原官旧址を見学、鴨公小学校で昼食、休憩の後、田中重太郎教授より「大和飛鳥

万葉歌枕抄」について講義、その後甘樫岡より、大和三山など飛鳥地方を鳥瞰

し、秋晴れの道を飛鳥寺へ、それより石舞台を見学後一路帰阪。

国文学科能楽鑑賞会

定例の能楽鑑賞会を、次のように行なった。

日時 昭和四十四年十二月十日(水)

午後一時〜午後四時

場所 大槻能楽堂

演題 能楽……「小督」
狂言……「千鳥」
一年一五五名、二年一四五名、研究生三〇名、計三三〇名の学生と付添教官五名が参加。

国文学科 集中講義

塩田良平 講師・昭和四十四年十一月二十五日・六日
〔近代文学〕八六二教室

昭和四十四年度・開講科目・講義題目(国文学科)

〔一般教育科目〕

宗 教 宗教概説

哲学 哲学概説(二年)

哲学思想史

音楽 生活と音楽

音楽史 社会思想史

経済学 経済及び流通経済の構造

法学 法学概論・日本国憲法

生活科学

生物学 生物学概論

生物学

〔外国語科目〕

英語

〔保健・体育科目〕

体育講義

体育実技

〔専門教育科目〕

文学概論

岡 邦俊 教授
中田 智海 助教授
海辺 忠治 教授
海辺 忠治
仲 芳樹
品川 三郎 講師
木場 集蔵
河村 宜介
山野 正二
山本 勇
奥野 春雄
水野 寿彦
川端 柳太郎 講師
富田 昭夫 講師
吉村 貞雄
源 高根 講師

国文学概論

国文学史 近世文学史

国文学史 近代文学史

国文学講読 上代(万葉集)

中古(枕冊子)

中古(日記文学)

中世(平家物語)

近世(西鶴)

近世(俳文学)

近代(近代小説)

近代(近代詩歌)

古今集

国文学演習 源氏物語

国文学特殊講義 伊勢物語

国語学概論 方丈記

国語学概論

国語史

国語表現法

国語学演習 国文法

漢文学史

漢文講読 詩文精粹

漢文講読 六朝小説

言語学 「かな」(初歩から作品まで)

〔教職専門科目〕

教育原理

教育心理学

国語科教育法

教育実習の研究

田中 重太郎 教授
沼波 守
中野 恵海 助教授
寺内 清之助 講師
田中 重太郎 教授
大橋 清秀 講師
三谷 幸子
飯田 正一
浅田 善二郎
中野 恵海 助教授
山根 賢吉 講師
森本 茂 助教授
柿谷 雄三
草部 了円 講師
森本 茂 助教授
鈴木 一男 講師
門前 正彦
鈴木 一男 助教授
柿谷 雄三 助教授
寛 久美子 講師
南部 松雄
平 秀道
岩倉 具実
宮重 万寿子
秦 博 教授
橘 覚勝
森本 茂 助教授
永田 千恵子 講師

道徳教育の研究

(国文研究科)

- 上代文学講読 (万葉集)
- 中古文学講読 (清少納言枕冊子)
- 中古文学講読 (源氏物語)
- 中世文学講読 (建礼門院右京大夫集)
- 近世特殊講義 (集中講義)
- 近代特殊講義 (樋口一葉を中心に)
- 近代文学講読 (夏目漱石・三四郎)
- 近代文学講読 (倉田百三)
- 近代文学特殊講義 (近代文学と宗教)
- 書道 (書道史・実習)

秦博教授

- 阪口保講師
- 田中重太郎教授
- 森本茂助教授
- 柿谷雄三
- 沼波守教授
- 塩田良平講師
- 吉田孝次郎
- 今小路覚瑞教授
- 中野恵海助教授
- 宮重万寿子講師

短大家政科(被服専攻)関係

論文・評論

山本登美子 助教授

「帽子アラカルト」月刊誌 「衣生活」
 (昭和四十四年五月号頁二十四〜頁二十七)

短大家政科(食物専攻)関係

学会発表

小原国彦 助教授

玉置ミヨ子 助手

第三十回日本家政学会関西支部研究発表会 (昭和四十三年五月十八日)
 演題 炭化水素資化性菌の食用油脂に対する挙動

一 脂質利用のための諸条件について

第三十回日本家政学会関西支部研究発表会講演要旨 P 4

小原国彦 助教授

玉置ミヨ子 助手
 日本家政学会第二十回総会 (昭和四十三年十月十三日)
 演題 炭化水素資化性菌の食用油脂に対する挙動第(三報)
 一 数種の脂肪酸に対する考察

日本家政学会第二十回総会研究発表要旨集 P 20

Studies On The Rature Of Soy-oil
 Soai Women's Tuniiov College by Kunihiko Ohara, Miyoko Tamaki
 Nutrition Abstracts and Review (British Commonwealth Bureau Of
 Animal Nutrition) 1968・12 誌載

小原国彦 助教授

大阪私立短期大学協会研究報告集 (第四集)
 炭化水素資化性酵母の、しょうゆあぶらに対する挙動について
 Studies On The Reaction Upon Soyoil by Hydrocarbon-Utilizing Yeast.

(大阪私立短期大学協会及び大阪府からの個人研究補助金による研究の報告)
 備考 報告集はいつも一年おくられて印刷されるため、四十三年度に配布された。

家政科

(一般教育科目)

- 宗 教 仏教概説(一年)
- 〃 〃 数算抄(二年)
- 哲 学 哲学概説(一年)
- 〃 〃 哲学思想史(二年)
- 文 学 枕冊子
- 〃 〃 近代文学
- 音 楽 合唱の歴史
- 〃 〃 実技
- 社 会 学
- 岡 邦 俊 教授
- 中 西 智 海 講師
- 海 辺 忠 治 教授
- 海 辺 忠 治 〃
- 柿 谷 雄 三 講師
- 中 野 恵 海 助教授
- 仲 野 芳 樹 教授
- 品 川 三 郎 講師
- 稻 岡 順 雄 〃

経済学	一般理論と経済思想	河村宣介	栄養生理学	栄養素の体内消長	富田朋介
法学	法規範及び規範一般の成立過程	中山勲	〃	〃	富田和義
生活科学	〃	山本勇	栄養病理学	栄養素と病気との関係	富田朋介
化学	〃	田中昭子	〃	〃	富田和義
〃	〃	小原国彦	食品化学	食品化学 実験	小原国彦
〃	化学概説	川合浩一	食品化学	食品材料 食品材料学通論	小原国彦
〃	〃	田中昭子	食品材料	食品材料学通論	小原国彦
〃	〃	木下邦夫	応用微生物	代講	奥野春雄
〃	〃	奥野春雄	食品加工貯蔵	〃	小原国彦
生物学	生物学概論	水野寿彦	食品学実習	〃	小原国彦
〃	一般生物学	〃	衛生学	公衆衛生	木村慶
〔外国語科目〕	〃	名取栄史	〃	〃	辻勝流
英語	会話	〃	食品衛生学	食中毒・食品衛生法に関して	菅原重道
〔保健体育科目〕	〃	富田昭夫	栄養指導	理論及び実習	磯部竜馬
体育講義	〃	吉村貞雄	給食管理	理論と学内実習	村上裕子
体育実技	〃	〃	調理	基礎調理(一年) 応理調理(二年)	村上裕子
〔専門教育科目〕	〃	東谷サトル	〃	〃	塩野緑子
家政学	家庭管理・家庭経済	神田美年子	調理化学	調理化学・調理化学実験	林崎つゆ
〃	〃	塩野緑子	食糧経済	食糧に関する需要・供給・流通	村上裕子
〃	〃	林崎つゆ	育児	〃	田中昭子
家族関係	〃	久貴忠彦	社会福祉	〃	宮田康治
〃	〃	麻生久弥	学校保健	学校教育の場における医学的保健管理	西村文男
住居学	〃	和田政雄	家庭機械及び家庭工作	〃	池川清
栄養学	栄養学総論・栄養化学・栄養学実験	菅原重道	被服学	(被)被服に関する重要諸科学の概説	高階義登
〃	〃	和田政雄	〃	(被)被服地の性能と選定及び織物と編物、その他	木下邦夫
〃	〃	村上裕子	〃	〃	〃
〃	〃	飯塚義富	〃	〃	白取吉敏

被服構成及び実習 和裁(和服に関する理論及び実習)

〃 〃 () 〃 〃 () 森山きり 教授

〃 〃 () 〃 〃 () 渡辺かねみ 講師

〃 〃 () 〃 〃 () 神田美年子 教授

〃 〃 () 〃 〃 () 山本登美子 助教授

〃 〃 () 〃 〃 () 二木久枝 講師

〃 〃 () 〃 〃 () 手塚唯聴 〃

〃 〃 () 〃 〃 () 手塚唯聴 〃

被服史 日本の被服史

服飾美学 服飾美学の根本的問題

衣料学 被服などの繊維製品に関する原材料学

染色学 染料、浸染、捺染についての実験と実習

被服整理学 洗剤、洗浄理論、漂白、加工について

意匠学 〃

手芸 基礎と応用

生理学 〃

〔教職専門科目〕

教育原理 〃

〃 〃

教育心理学 〃

教科教育法 家庭保健

教育実習 〃

〃 〃

道徳教育の研究

道徳教育の研究

〃 〃 松浦伯夫 講師

〃 〃 寛田知義 〃

短大人事異動

教授 塩野緑子

教授 神田美年子

助教授 森本茂

短大部長 海辺忠治 教授

教務主任 森本茂 助教授

学生主任 秦博 教授

新任(専任者のみ)

講師 三谷幸子 昭和四十四年四月一日付 国文講読・文学担当

助手補 坂下キク子 昭和四十四年九月一日付 (栄養学)

助教授 中西智海 昭和四十四年五月六日付 宗教担当

講師 東谷サトル 昭和四十四年四月一日付

助手補 坂下菊子 昭和四十四年九月一日付

退職

助教授 荒木稔子 昭和四十四年三月三十一日付

助手補 田村久子 昭和四十四年三月三十一日付

助手 吉川知子 昭和四十四年八月三十一日付

計報

浜崎弥市 教授 昭和四十四年二月十三日

松永大覚 教授 昭和四十四年四月十三日

沼波守 教授 昭和四十四年十二月十九日